



3月19日 八王子地本申第5号

# 「乗務員配属箇所における事務業務の 集約化に関する申し入れ」団体交渉開催！！



## 組合

1. 他支社でも行われている事務業務の集約化の成果と課題を明らかにすること。

他支社でも行われているが発生していることが、八王子支社でも起きるのではと考える。わかっていることを教えてほしい。

各支社の課題等集約して支社で検討しているのか？

2. 立川統括センターに設置される執務スペースには社員の意見を取り入れた環境を整えること。

WG での中身を教えてほしい。

輸送総合システムの入力がメインになるのか？

今後集約化して検討しているものはあるのか

立川統セのみ出面数が+2となっているが、この2人が輸送総合システムの入力を専門で行うのか。

WG で話している内容をオープンにしていくべきでは？

3. 事務業務は入力以外の業務も多々あることから、統括センターの乗務員配属箇所に現状の出面数を配置すること。

乗務員勤務制度を理解していない社員がいきなり担う訳ではないことは確認できていると考える。チェックに関しても分からない人が見ても意味がない。ミスがあれば賃金未払いなどが起きる可能性があるが、この施策でそういった問題は発生しないという認識でいいか？

4. 施策において転勤が発生する際は、体調や家庭の事情を考慮し、本人希望に基づいて双方向コミュニケーションを取り行うこと。

事務担当の中には体調面で不安のある社員もいる。

車両センターの社員も異動はあるのか、乗務員勤務に詳しい社員も多にいる。

5. 施策実施後は労使が検証を行い、問題等が生じた際は労使協議すること。

施策実施後労使検証や問題が発生した際は協議するというのでよいか？

## 会社

1. 事務業務の集約化は、技術革新や業務の抜本の変革による効率的で生産性の高い業務執行体制を構築するものである。なお、他機関の状況等については、回答を差し控えることとしたい。

他支社で集約されたものが一律でないのではなかなか回答できないが、排他処理により一人しかシステムに入れないため、勤務作成と事務の入力が同時に出来ない。各職場と事務作業の分けをどうするか課題。ログインできるのは箇所毎・統括センター毎に一つになるが、Teams でやり取りして調整するよう決めている。業務を担う社員と副長を交えて意見交換を月一回行っている。

2. 業務の運営に必要な設備等は整備していく。

WGというよりは一項で話した通り会議を行っている。要員の+2は入力業務だけでなく他の業務も行う。入力は担当箇所毎に分けてやってもらうが、様々チャレンジしていただくため、それ以外にさせていただく業務もある。WGの内容は4/1までに示していく。

必要なフォロー体制はとっていく → 確認

3. 提案の体制で対応可能と考えている。

なお、業務の運営に必要な要員は確保していく。

乗務員勤務制度は奥が深く難しいので、技術継承を目指すために今回の施策がある。技術継承・育成は今後も続く課題である。モビサになったので営業助役にも乗務員勤務制度を勉強してもらう。

賃金の誤支給などないようにしていく → 確認

4. 社員の状況については面談等を通じて把握していく考えである。なお、社員の運用については、業務上の必要性に基づき、任用の基準に則り取り扱っているところである。

管理者がしっかりコミュニケーションをとっていき把握をしていく。

車両センターの事務担当については首都圏本部の所属となるため、支社間異動という形はある。

5. 具体的な提起があれば、「労使間の取扱いに関する協約(令和3年10月1日締結)」に則り取り扱うこととなる。

都度協議していく → 確認